

## 令和6年度メンバーの声（参加理由）

- 私は選挙権を得た時に、国に自分の意思としての1票が入られる状況をととても嬉しく思い、お祭りのように感じ、ワクワクしていたのを覚えています。個々の演説では色々な意見や考え、制作を知れて感動していました。ある日テレビで、NPO 法人の方が、選挙に対して、「若者の投票率が低いのは呼び掛けが足りないからだ」と仰っていて、ポートマッチを作ったり、議員さんのインタビューを行ったりしていました。私もこの方みたく政治の楽しさを知って投票率をあげ、みんなでまちづくり、国に参加する、当事者意識を持って欲しいと思っていたので、衝撃を受け、そのNPO 法人の方が主催している政治のお話をする、政治を身近に感じてもらう話し合いの場に何度か参加させて頂きました。私もなにかできることは無いか、選挙を前向きにお祭りのように素敵なものに出来ないか、あのワクワク感を身近に思っていて欲しい。という思いがあり、応募致しました。
- 元来選挙に興味があったことに加えて、特に近年若年層の投票率が低下していることを憂慮していたからです。投票率が低下し続けるままだと、政治に緊張感が生まれず、若者向けの施策がますます行われにくい状況に陥るのではないかと考えていました。大学の授業で「Activate 仙台」に参加している学生の方から紹介があったこともあって、参加を決めました。

- 私は政治の世界で働くことに興味があるので、選挙に関連するボランティア活動に参加をすることで、将来につながる良い経験が得られるのではないかと考えたからです。また私自身、最近の都市部における選挙の投票率の低さに問題意識を持っていたことから、選挙啓発の活動に参加することは、そのような問題を考える良いきっかけになると考えたからです。
- 近々仙台市で選挙が行われると知り、また、衆議院議員選挙という国政を左右する重要な選挙も迫っているため、選挙について興味を持った。自分は選挙権を持つ者としては選挙活動全般について詳しくはないため、この活動を機に知識を得たい。また、友人の勧めもあって、学生生活のうちに有意義な社会活動を体験してみたいとも思った。この経験を将来の進路や人生設計に役立てることができたらうれしい。
- 在学していた高校に選挙推進のための出張事業があった。疑似選挙投票を行い、非常に楽しく選挙を学べたことを覚えている。私もこのような活動に携わり、若者の政治意識及び投票率の向上に貢献していきたいと思った。
- 私は同年代の人の SNS を見て政治に興味を持ちました。SNS では政治・社会問題の話ができますが、友人や家族には話すことを少しためらってし

まいります。もっと身近に生活の一部としてそういった話をできるようにするために、自分にできることを探したいと思い参加を希望しました。

- 近頃、選挙が行われる度にテレビ等で投票率の低さについて報道されているのを見かけるようになり、特に選挙権が18歳以上に引き下げられたにも関わらず10歳代の投票率が全世代平均を大きく下回っている状態に危機感を覚えました。Activate 仙台の出前授業やチラシ作成等の活動を通じて、若い世代にも政治に対して当事者意識を持ってもらい、よりよいまちづくりにつなげたいと思い、希望しました。
- もともと若者の選挙への参加率の低さには問題意識を感じていましたが、私自身、これまで選挙に対して興味関心を持つ機会がありませんでした。今回ゼミの先輩からの紹介を受け、自分の選挙に対する理解を深めるとともに、仙台の若者の選挙への関心を高めることに貢献したいと思い、希望しました。
- 私は、大学への進学以前から地元の市議会見学に参加して発言するなど、地方自治と行政に高い関心を持っていました。また、自らの興味に適するボランティア活動に参加したいという意志もありました。このような2つ

の理由から、今回この選挙啓発のボランティアに参加することを決意いたしました。

- 若年層の投票率向上は大きな社会的課題であり、自分は将来地方公務員になることも視野に入れているため、この機会に投票率や選挙について知識を深めたり、周りと話し合っって考えを広げたいと思ったため。また、ボランティアに大変興味があったため。他校の方や地域の人に触れ合う機会が欲しいと思ったためです。
- 私は、元々選挙というものに興味がありました。小さい頃からニュースや新聞で政治の問題が報道される度に政治の良い側面、そして悪い側面を知ることができ、選挙というものを通じて自身の意見を議会に反映できるということを心待ちにしていました。しかしながら、現在の若者の投票率はとても少なく、自身が行動を起こすことでなにか変化が起きればと思いこの活動に参加しようと考えました。